



JFRL 情報宅配

* 農林水産省 * (<http://www.maff.go.jp/>)

1. [令和 4 年度遺伝子組換え植物実態調査の結果について] (令和 5 年 6 月 30 日 消費・安全局農産安全管理課) <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouan/230630.html>
2. [水産物の放射性物質調査の結果について] (令和 5 年 7 月 11 日 水産庁) <https://www.jfa.maff.go.jp/j/housyanou/kekka.html>
3. [EU が日本産食品の輸入規制の撤廃を公表] (令和 5 年 7 月 13 日 輸出・国際局国際地域課) https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai_chiiki/230713_13.html

* 厚生労働省 * (<https://www.mhlw.go.jp/>)

1. [令和 5 年 7 月 3 日薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会新開発食品調査部会新開発食品評価調査会指定成分等含有食品等との関連が疑われる健康被害情報への対応ワーキンググループ(第 6 回)資料(非公開)] (令和 5 年 6 月 30 日 医薬・生活衛生局 食品基準審査課 新開発食品保健対策室) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33968.html
2. [「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件(案)」(清涼飲料水の規格基準の改正)に関する御意見の募集について] (2023 年 7 月 3 日)
募集期間: 2023 年 7 月 3 日~8 月 2 日 23 時 59 分 <https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495230080&Mode=0>
3. [令和 5 年 7 月モニタリング検査・命令検査・その他監視指導に関する実施通知]
 - ・モニタリング検査 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31169.html
 - ・命令検査 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_31165.html
 - ・その他の監視指導 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_32505.html

* 内閣府 食品安全委員会 * (<https://www.fsc.go.jp/>)

1. [食品安全委員会広報誌「食品安全」第 60 号を公開しました] (2023 年 7 月発行) https://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index.html

* 消費者庁 * (<https://www.caa.go.jp/>)

1. [第 5 回 食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議資料掲載] (2023 年 6 月 14 日 食品表示企画課)
(1) 特定原材料に準ずるものに係る対象品目の選定に関する考え方について, (2) その他 https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_005/033598.html
2. [シンポジウム「コーデックス 60 周年記念イベント~国際食品安全の今後 10 年先を見据えて~」のご案内] (2023 年 6 月 30 日 食品表示企画課) <https://www.caa.go.jp/notice/entry/033814/> (開催日時: 令和 5 年 7 月 24 日(月)14:00~17:00)
3. [「食品表示基準について」「食品表示基準 Q&A」の一部改正について] (2023 年 6 月 29 日 食品表示企画課) https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/ (食品表示基準に係る通知・Q&A について)
第 29 次改正(令和 5 年 6 月 29 日消食表第 343 号) https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/assets/food_labeling_cms201_230629_04.pdf (別紙)新旧対照表 https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/assets/food_labeling_cms201_230629_05.pdf
4. [食品表示適正化に向けた取組について] (2023 年 06 月 29 日 表示対策課食品表示対策室) <https://www.caa.go.jp/notice/entry/033841/>
5. [第 6 回食品ロス削減推進会議] (2023 年 7 月 7 日 消費者教育推進課) https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/meeting_materials/review_meeting_002/033920.html

* 今月のトピックス *

[有機フッ素化合物 (PFAS) 制限提案における総フッ素量の規制について]

有機フッ素化合物のうちペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して PFAS と呼んでいます。中でも、ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA) についてはその利便性の高さから幅広い用途で使用されてきました。しかしこれらは自然環境中では分解されにくく、また体内に蓄積されやすいため健康被害を引き起こすことが懸念されており、飲料水等で世界的に規制、監視が始まっているのは第 243 号でお伝えした通りです。

欧州化学品庁 (ECHA) は 2023 年 2 月 7 日、PFAS 制限提案 (附属書 XV) を公表しました。PFAS の存在が永続的である以上、これらの製造、販売、使用そのものに制限をかけていこうというものです。この制限提案中、「PFAS とは、フッ素化メチル (CF₃-) またはフッ素化メチレン (-CF₂-) 炭素原子を少なくとも 1 つ含む物質 (H/Cl/Br/I が結合する化合物は除く)」と定義されており、適用される物質はなんと 10000 種類を超えるとのこと。環境中で分解される一部の物質については適用除外とされていますが、ポリテトラフルオロエチレン (PTFE) などのフッ素樹脂や高分子 (ポリマー) も規制の対象となります。これがそのまま法制化されれば、フッ素樹脂を含む製品も欧州連合への輸出が困難となってしまう、日本だけでなく世界の製造業に大きく影響することが予想されます。猶予期間中にこれらに代わる物質を見つけれればよいですが、そう簡単なことではなさそうです。

では、こんなに多くの種類の PFAS をどのように管理していけばよいのでしょうか。実際、すべての PFAS について分析法が定まっているわけではありません。そのため、先の制限提案では以下のように閾値が示されています。

1. PFAS については個別の物質あたり 25ppb (ポリマーPFAS は除く)。
2. 個別の PFAS (前駆体も含む) の合計値が 250ppb。
3. すべての PFAS (ポリマーPFAS を含む) について、50ppm (総フッ素量を分析)。

これらのうち、3. については、サンプル中に存在するすべてのフッ素の量で評価することになっています。フッ素が検出した場合、それが PFAS として存在しているのか、あるいは非 PFAS として存在しているのかまで判別することは出来ません。しかし、ポリマーPFAS など、標準品が無い PFAS の存在の可能性を知ることができます。このような分析手法をスクリーニング分析といい、その利点は、個別の PFAS 分析に比べて大幅に安価で済み、かつ分析時間も短いことが挙げられます。このように、フッ素の総量を分析して評価することは、全ての PFAS の使用を制限するという提案に対して一番実用的です (ただし、フッ素の総量が 50 F mg/kg を超えた場合、製造業者、輸入業者、または使用者は要求に応じて PFAS または非 PFAS それぞれの濃度の証明書を提出しなければならない、と記されています)。

弊財団では自動燃焼装置とイオンクロマトグラフを用いた総フッ素量の分析 (*) を受託しております。お気軽にお問い合わせください。

項目名：フッ素 (定量下限 10 ppm~)

分析方法：イオンクロマトグラフィー

(*) 本法が採用されている規格 (一部)

IEC62321-3-2：電気・電子機器中における特定物質の定量—第 3-2 部：スクリーニング—燃焼イオンクロマトグラフィ (C-IC) によるポリマー及び電子機器内のフッ素、塩素及び臭素
JEITA ET-7304A：ハロゲンフリーはんだ材料の定義



☆お知らせ☆

第 12 回一般財団法人日本食品分析センター技術成果発表会を 10 月 25 日に開催します。本年も皆様のご要望にお応えし、会場・オンライン併用のハイブリットでの開催を予定しています。申し込み開始は 8 月中旬です。ご参加お待ちしております。

